



宮崎大学

University of Miyazaki

～世界を視野に、地域から始めよう～

情報解禁日時：2024年11月27日10:30以降

【報道発表】

2024年11月27日

宮崎大学医学部と患者会、県内企業のチーム宮崎で取り組む
「ストーリーマケア VR トレーニングコンテンツの開発」
～OSTrain-VR プロジェクト～

OSTrain-VR Project



クラウドファンディングによる開発成果と宮崎大学から目指す社会実装

日時：2024年11月27日（水）9:30～10:30

場所：宮崎大学木花キャンパス 地域デザイン棟

宮崎大学医学部（外科学講座・看護部）、患者会、そして県内企業である株式会社 L.A.B およびオストミーサポートセンター株式会社の産学連携により、オストメイトやそのご家族がいつでも、どこでも、繰り返しストーリーマケアを学べる VR トレーニングコンテンツ「OSTrain-VR」を開発しました。

本プロジェクトは、クラウドファンディングを通じて多くの支援をいただき、その資金を活用して開発を実現しました。完成した VR コンテンツを含むデバイスは、オストメイト支援に関わる関連団体へ提供予定です。プロジェクト進行においては、実際の患者やそのご家族からの意見を丁寧に取り入れ、使いやすい効果的な VR コンテンツの提供を目指しました。また、社会実装への期待に応えるべく、今後は大学発ベンチャーの設立も視野に入れていきます。

この度、プロジェクトの成果と今後の展望について広く知っていただくため、以下の通り記者説明会を開催いたします。取材いただけますよう、ぜひご検討ください。

参考情報（ホームページ）

- プロジェクト公式ホームページ URL：<https://ostrain.jp>
- クラウドファンディング活動報告 URL：<https://readyfor.jp/projects/ostrainvr>

プロジェクト
公式 HP QR



1. 「OSTrain-VR」プロジェクト

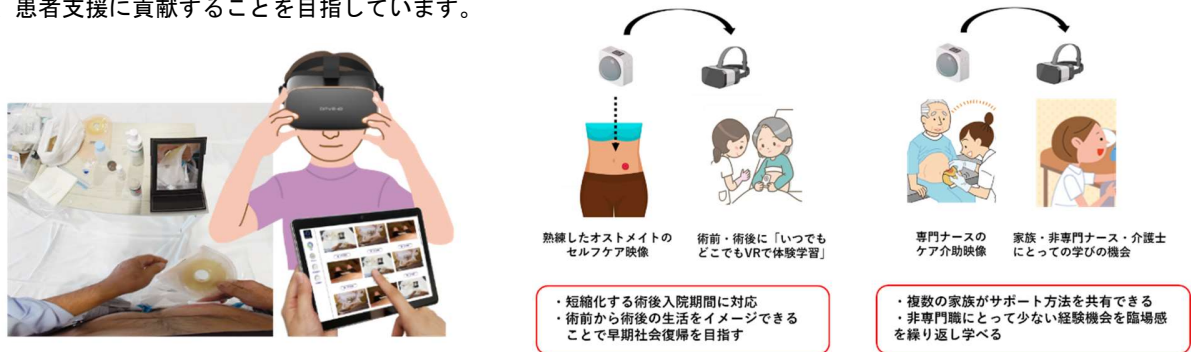
VR 技術を活用したストーマケアを支援する新しいアプローチ

人工肛門（ストーマ）は、大腸がんや炎症性腸疾患などによる大腸切除後や大腸閉塞、または泌尿器がんによる膀胱切除後に排泄が困難となった場合に、腸を腹壁に誘導して作られる排泄口です。日本国内には 21 万人以上、宮崎県内には 2000 人以上の「オストメイト」と呼ばれるストーマ保有者が存在し、今後もその数は増加が見込まれています。

オストメイトは、ストーマセルフケアの技術習得や社会復帰に向けて心理的な葛藤など、個人および社会的な問題を抱えています。ストーマセルフケアの指導は手術後の入院期間中に開始され、セルフケアの早期習得は社会復帰の自信を高めるために重要です。しかし、診療報酬の改訂に伴う平均在院日数の短縮により、セルフケアの習得時間が限られ、自宅での実践に不安を抱えながら移行する患者が増えています。このため、医療者には技術的・心理的な支援の充実が求められています。

そこで、VR（Virtual Reality, 仮想現実）技術に注目しました。エンターテインメントやビジネス分野での普及が進む VR は、従来の 2D 映像教材とは異なり、主観的かつ没入感のある学習体験を提供できるため、学習効果が高まると期待されています。さらに、時間や場所に縛られずに患者に共感を生み出すことができる VR は、人的リソースが限られる地域医療において特に有効な技術です。

こうした背景から、宮崎大学医学部附属病院の外科医や WOC ナース（皮膚・排泄ケア認定看護師）を中心とした有志が集い、「OSTrain-VR プロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトでは、VR 技術を活用し、オストメイトやそのご家族が、いつでも、どこでも、繰り返しストーマセルフケアを学べるトレーニングコンテンツを開発し、患者支援に貢献することを目指しています。



2. 「クラウドファンディング」を活用した、宮崎大学の新しい開発スタイル

宮崎大学医学部が主導する「OSTrain-VR プロジェクト」は、オストメイトへのより良いサポートを目指し、VR 技術を活用した新しいトレーニングツールの開発を目的として、2022 年 9 月に活動を開始しました。プロジェクトには、「日本オストミー協会宮崎県支部」や、様々な分野で VR 技術の活用に取り組む「L.A.B 株式会社（宮崎市）」、長年にわたり宮崎県内のオストメイトを支援してきた「オストミーサポートセンター株式会社（宮崎市）」、そして県内の医療機器産業を推進する「宮崎県メディカル産業推進室」など、多様なバックグラウンドを持つパートナーが参加しています。

プロジェクトの開発資金調達には、2023 年 8 月に宮崎大学医学部として初めてクラウドファンディングを活用し、121 名の支援者から総額 4,496,000 円の寄付を頂きました。多くのオストメイトやそのご家族、医療従事者からも賛同の声をいただき、プロジェクトは本格的にスタートを切ることができました。

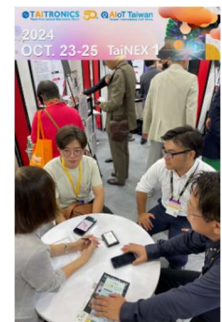


3. 「チーム宮崎」の産学連携プロジェクトの成果

本プロジェクトでは、技術的サポートのみならず、オストメイトとその家族、医療従事者が「時間や場所の制約を超えて、日常生活の中での工夫や想いを共有できる新しいツール」を目指して、多くのプロジェクト参加者との意見交換を通じて、真にユーザーに寄り添うVRアプリの開発を進めています。2023年12月よりコンテンツ制作を本格的に開始し、オストメイト視点や介助者視点、健常者とともに入浴施設での入浴体験や専用トイレの利用体験など、合計7つのコンテンツを制作しました。また、患者会や医療従事者、一般の方々からのヒアリングをもとに、高齢者でも簡単に利用できるよう、タブレットを通じて外部から視聴サポートが可能な仕様を開発しました。



この取り組みは評価され、HAMIQ（九州ヘルスケア産業推進協議会）が主催する「第11回ヘルスケア産業づくり貢献大賞」にて特別賞を受賞しました。また、日本貿易振興機構(JETRO)の事業の一環として公益財団法人日本台湾交流協会の補助のもと出展した「TAITRONICS + AIoT Taiwan 2024」では、術後入院期間が日本と比べてはるかに短い海外諸国での活用に強い関心が寄せられています。



わたしたちはクラウドファンディングで支援をいただいたご寄付を社会に還元する目的で、プロジェクト発足当初から応援していただいている「延岡市障がい福祉課様」、「宮崎県介護福祉士会様」、「日本オストミー協会宮崎県支部様」へ提供（各施設1台ずつ）させていただき、これにより、オストメイトやそのご家族のみならず、関心を頂いた一般の皆さまにも広くご利用いただけるようにし、支援者の皆さまへの感謝の気持ちとさせていただきたいと考えております。

4. 宮崎大学発のベンチャーとして「社会実装」を目指した次なるステージへ

「OSTrain-VR プロジェクト」は、始動から2年間、多くの方々から応援とご協力をいただきながら、VRによるセルフケアトレーニングツールの開発に取り組んでまいりました。このプロジェクトを通じて、VRを活用した擬似体験のインパクトが、さまざまな分野の患者支援サポートに有用であることを実感しています。さらに、高齢化社会や医療者の働き方の見直し、タスクシフトといった社会課題に対する解決策として、国内外に向けて宮崎から発信できる可能性を強く感じています。

現在、私たちは地元企業との協力関係を維持しつつ、宮崎大学発ベンチャーとして起業を目指し、これまで培ってきた経験と技術を活用して社会実装を進める新たなチャレンジに踏み出しています。OSTrain-VR プロジェクトが生み出すコンテンツは、地域に根ざした医療福祉の発展に貢献するだけでなく、グローバルに展開することによって社会に貢献する道を切り拓いていきます。

【記者会見当日のタイムスケジュール】

- AM9:30～10:30 記者会見
- 1) ご挨拶（盛武医学部長）
 - 2) プロジェクトの概要と取り組み（甲斐）
 - 3) 社会実装に向けた今後の展望（野下）
 - 4) VRコンテンツの贈呈
 - ・宮崎県介護福祉士会（七島教授）
 - ・日本オストミー協会宮崎県支部（福満看護部長）
 - 5) 質疑応答
 - 6) フォトセッション
- AM10:30～11:00 個別インタビュー

※当日のスケジュールは予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

【当日登壇者】

宮崎大学医学部		医学部附属病院看護部	竹生 まゆみ
医学部長	盛武 浩	医学部附属病院看護部	竹入 恵美
医学部附属病院看護部長	福満 美和	医学部附属病院看護部	篠田 裕美
医学部外科学講座 教授	七島 篤志	株式会社 L.A.B	野下 隆寛
医学部外科学講座 講師	濱田 剛臣		
医学部外科学講座 助教	甲斐 健吾	宮崎県介護福祉士会	木場 圭一
看護部副看護部長	児玉 裕子	日本オストミー協会宮崎県支部	甲斐 誠郎

【記者会見実施場所】

宮崎大学木花キャンパス 地域デザイン棟（宮崎市学園木花台西1丁目1番地）

【ご案内事項】

- ・当日の現地取材していただける場合は、11月26日（火）正午までにお知らせください。
- ・オンライン形式での参加を希望の方は、メールにて11月26日（火）正午までにお知らせください。
- ・申込の際には、所属と氏名をお知らせください。
- ・当日、記者会見後に、ストーリーVR（試作機）を実際に体験することが出来ます。
- ・VRでの見た場合のイメージ映像が必要な場合は、メールにて映像データをお渡しいたします。

【発信元・取材申込先】 企画総務部総務広報課広報係（後田） TEL：0985-58-7114 e-mail：kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp	【内容に関する問合せ先】 医学部外科学講座（甲斐） TEL：0985-85-1510 e-mail：kengo_kai@med.miyazaki-u.ac.jp
--	--